

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	亜細亜大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	アジアダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	海外ビジネスインターンシップ(AUCP)
	学部・研究科等名	経営学部経営学科、経済学部経済学科、法学部法律学科、国際関係学部国際関係学科・多文化コミュニケーション学科
	担当教職員名・役職	アジア研究所教授 西澤 正樹(アジア夢カレッジ運営委員会委員長)国際関係学部特任教授 九門 大士国際交流センター国際交流課調査役 寺尾 浩一
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	7
	受入企業等数	7
	受入企業等名	大連漫歩広告有限公司デロイト トウシュ トーマツ大連事務所在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所大連中国国際旅行社有限公司SWISH HOTEL DALIAN大連愛光汽車部件有限公司大連外国語大学漢学院
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ,3.海外インターンシップ,5.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	AUCP(Asia University China Program)は、毎年8月末~翌年1月末に中国・大連で実施され、インターンシップは、その期間中の12月中旬から1月中旬の約5週間に亘り、現地大企業・グローバル企業、中小企業等約30社の協力を得て実施されている。	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	協力企業等の現場で現地の人々と協働体験することを通して、当該社会の言語・民俗・社会についての生きた理解のうえに、企業社会への認識と職業観を確立し、職業能力、責任意識と相互協調の価値観を涵養するとともに、将来の進路、自己の適正について考え、専門教育への更なる動機づけを促す。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「海外ビジネスインターンシップ(AUCP)」は、各学部専門科目、その他の専門科目の選択必修科目としての分類で、2年次後期に配置されているが、本プログラム対象学部生はこれを必修科目として履修しなければならない。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している,5.その他
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	AUCPの参加要件として、中国語検定3級を取得しなければならない、その為の授業を事前学習として位置づけている。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	本プログラム受講学生は、留学インターンシップの準備科目として設置されている授業で、「ビジネスマナー研修」、「プレゼンテーション研修」、「異文化適応研修」を受講しなければならない。また、「現代アジアと中国」、「現代アジアの人と社会」、「中国語」の授業が必修として位置づけられており、現地の情報等を事前に学習しなければならない。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中には日報を学生が作成し、担当者によるフィードバックが行われている。また、終了後には「留学インターンシップ報告書」を作成している。さらに帰国後には、企業担当者も出席する報告会を開催している。アセスメントシートと受入企業からのコメントに基づき、各学生に対しフィードバックを行っている。

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	プログラム実施中に現地に3回赴き、「キャリア開発研修」を本学学生及びその関係中国人学生に対して実施している。研修ではキャリア開発に関する専門知識を身につけさせるだけでなく、学生たちとの面談を通して、学生自身のキャリアに対する気付きと動機付けを行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている。3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「My Before-Afterシート(社会で必要とされる5大リテラシーで本学独自開発アセスメント/平成24年度文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援採択時の特徴的申請項目)」により、事前事後、インターンシップ受入企業担当者の評価も含めて、各学生の成長度合いを把握・共有している。また、帰国後には学生へのフィードバックを行い、以降のキャリア開発に活用している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間35日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	AUCP(Asia University China Program)は、毎年8月末～翌年1月末に中国・大連で実施され、インターンシップは、その期間中の12月中旬から1月中旬の約5週間に亘り実施されている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ受入企業には、希望人材等を聴取し、マッチングを行っている。また、留学前後の学生発表会には、協力企業担当者が出席し、適切なアドバイスをもらっている。インターンシップでは、各学生の達成目標に基づき担当者の指導があり、大学からのバックアップを行っている。前述アセスメントシートでの5段階による数値評価が行われている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	アジア夢カレッジ https://www.asia-u.ac.jp/academics/yume/AUCP (Asia University China Program) https://www.asia-u.ac.jp/international/aucp/
問い合わせ先	大学等名	亜細亜大学
	担当部署名	国際交流センター国際交流課
	担当者役職名	調査役
	担当者氏名	寺尾 浩一
	電話番号	0422-36-4089
	メールアドレス	kkcia@asia-u.ac.jp